

CEMSAR

EnMS研修コース、昨年10月から6コースを承認 研修コース承認第1号は、「(株)テクノファ」の資格拡大研修コース

「エネルギーマネジメントシステム審査員評価登録センター（CEMSAR）」では、ISO50001（エネルギーマネジメントシステム＝EnMS）のエネルギー審査員の評価・登録および研修コースの承認を行っています。EnMS研修コースについては、同年10月に資格拡大研修コースを承認したのを皮切りに、これまでに資格拡大研修コース4コース、特定研修コース、フォーマル研修コースを各1コース、合計6コースを承認しています。

ここでは、CEMSARによる研修コース承認第1号となった(株)テクノファの研修コースを紹介します。テクノファは、品質、環境から、労働安全衛生、ITサービスに至るまで、日本におけるISO研修機



関のパイオニアとして知られています。同社研修事業部の渡辺慎一さん（環境安全グループリーダー）に、「EnMS資格拡大研修コース」について伺いました。

“EnMS研修コース承認第1号”としての責任

当社では、昨年8月にEnMS研修コース基準が公開されたあと、同月26日にいち早くCEMSARに承認申請をして、書類・事務所審査、そしてコース立ち合いなどの審査を乗り切り、おかげさまで11月8日にEnMS資格拡大研修コースの承認をいただきました。EnMS資格拡大研修コースとは、EMS（環境マネジメントシステム）、QMS（品質マネジメントシステム）の審査員がEnMS審査員へと資格を拡大するためのコースです。

地球規模で省エネの要請が高まっているなかで、当社はまずEMSおよびQMS審査員の皆様の資格拡大が優先されると考えて、昨年からEnMS資格拡大研修コースを開設する運びとなりました。新設されたCEMSARに審査していただき、光栄にも“EnMS研修コース承認第1号”となったことを嬉しく思うとともに重い責任を感じています。



講義風景：事例を交えた分かりやすい講義



ケーススタディグループワーク：グループで協力して、ケーススタディに取り組む

「資格拡大研修コース」の開設と抱負

当社の「ISO50001審査員資格拡大研修コース」は、ISO50001のエキスパート、EMS・QMS主任審査員のみならず、エネルギー管理士の資格を有するベテラン講師陣を配するとともに、テキストや教材およびカリキュラムも、EnMS審査員に必要な知識とスキルを習得できる内容となっています。幅広い知識と技能を身につけるために、ケーススタディに重点を置き、研修全体の約5割の時間をとっています。架空の組織のエネルギーマネジメントマニュアルや記録をもとに、エネルギーレビュー・模擬審査などの演習を行う実践的なカリキュラムです。

講師陣にとっても初めての研修であるため手探りで企画を進めましたが、エネルギー問題への社会的な関心が追い風になり、いまでは講師2名体制で行うほどご好評をいただいています。2012年度は4回の開催を予定していますが、テキストの内容を最新化するなど不断のブラッシュアップに努めるとともに、将来的にはフォーマルコース^{*1}、特定研修コース^{*2}の開設も視野に入れて、EnMS研修コースの充実を図っていきたいと思っております。

- *1 フォーマルコース：エネルギー審査員登録を希望する者が修了しなければならない研修コース。ISO50001の要求事項への適合性審査をする上で必要となる諸事項を教育訓練するもので、CEMSARが承認したものと。
- *2 特定研修コース：エネルギー管理士資格を有することなど、エネルギー管理の専門性を有すると認められる者がCEMSARのエネルギー審査員へ登録を希望する場合に受講できる研修コース。

▶問合せ：セムサール事務局

TEL：(03) 5543-3062 FAX：(03) 5543-3887 URL：http://www.eccj.or.jp/cemsar E-mail：cemsar@eccj.or.jp